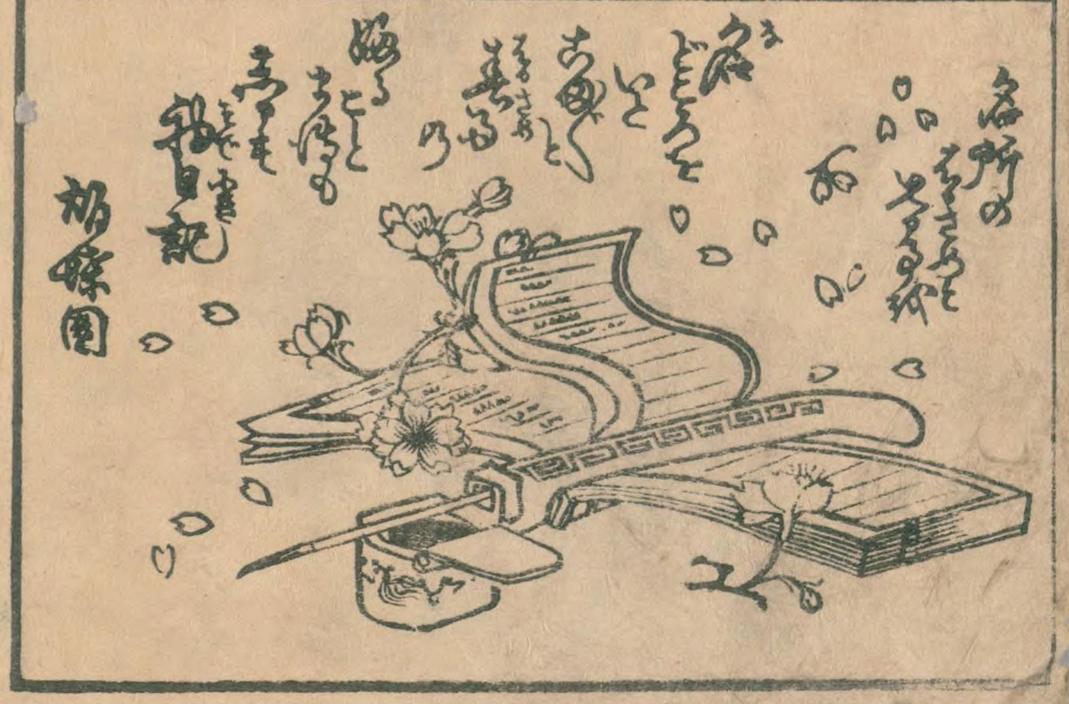
国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6

ガラス使用

864
6

江戸名所古跡物語目録

○山吹の里の故事
○沙茅ゑとつ家の古事
○宮戸川に三社の旧記
○あうん堂のいはれ
○三めぐりに両色の句
○梅花丸の由来
○沙茅が茶漬が花の事
○吉崎お出狐の大道
○石濱の古戦場
○橋場舟橋の物語
○隅田川の渡都鳥の句
○浄真寺琴弾松の詠
○沙茅観音堂古絵馬



江戸名所古跡物語

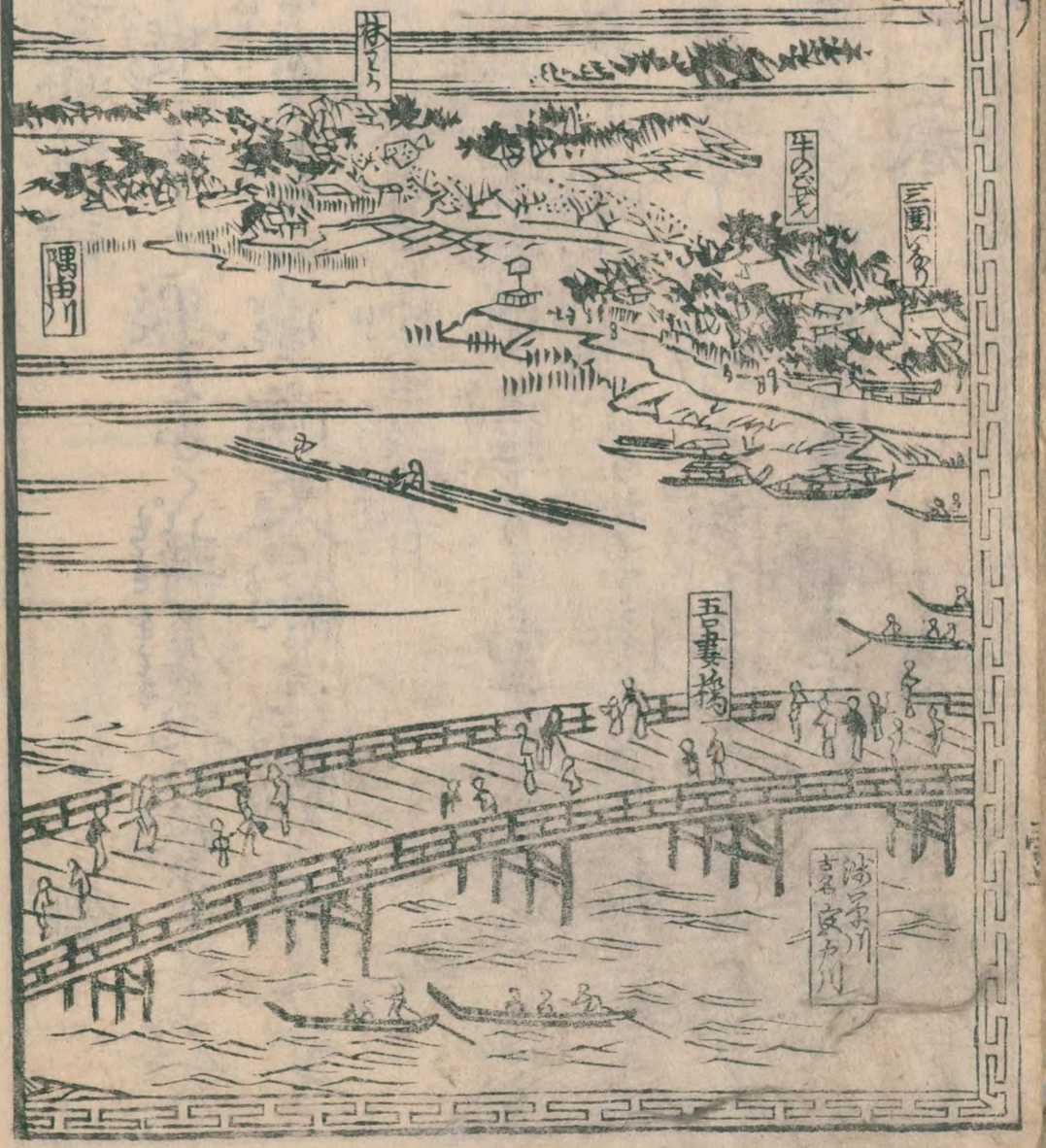
武蔵野の廣くとして果もなく。薄屋の花の繁りしも。今ハ四の民草生替り。草より出て艸に入と詠にん月頭も。軒より出て軒にの大江戸の繁昌ハ実に難有

御代のおんゑ富士筑波の蔭よりも志ぎなく。豊潤のうら浪静にして。枝をあらさぬ時津風。豊なおりを[ゑどみなげ]に。[むらさきの[illegible]]づ。古き世ごろくりを見る出して。其形しきを[ゑどかのこ]の鹿子まだらに我ふ爰と。[江戸砂子]のひろい書して。[江戸雀]の囀に千代の春を妻にあん

天保十六巳立春

胡蝶園誌

隅田川両岸の圖



国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

[つゞき] こゝいろ〳〵ふるくあるそうなが
なまりいつふるくそうなてらなり
うえのゝみなみそれもどひおくうの
よはのあとまあけてそこのもと
とまりあたり今そのあとをいく
つくぐのけとそあさくさの
まつまんいんそのこうみ

みめぐり

ひとつせのあつまは日ぐらし
ひとがてきのくわんをいつ
ものぐまと共角一舞台
そうえんそくうんまんと
いつとうどちうもち
つとひまこゝれま
まのをうつてのう
それをとさきふむふ
のとそのうあくまう
ひゃく〳〵やうとまく
〔まつせの一ぎう
ホこのうさをそろ
ほさうのとこあめ
てうちうてさの
ぎりえさあんどを
うちうりてさそひ
うるあまぐりまとと
こうぐりまのひを
よまでくあのくかあ

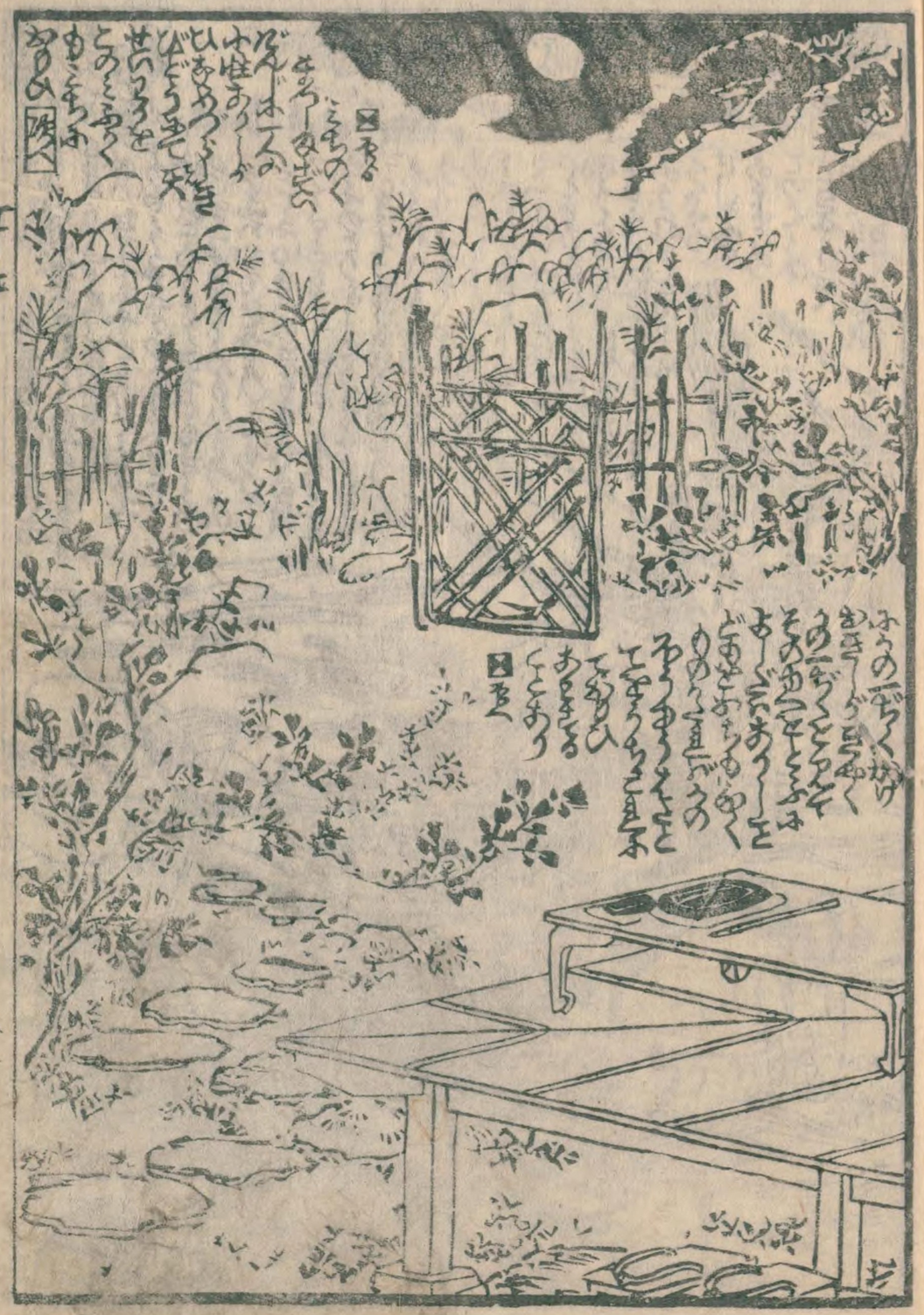
[つゞき] ありせまさくうまのかまして
いつまでもものしあくと
とてもをうちてまーゆう
まいうをへんでとの
王うまちうのまでとを
ろうくあり
あをぐ
ふうくの神をわれ
ぐうまの田をうぐ
とてんまちくぐまん
かれまうのひろん二
ろうち

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』 請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

石濱

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』 請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』 請求記号 864-6　ガラス使用

864
6

江戸名所古跡物語 初編

同 二編

芝神明門前
越前屋平三郎板

國立圖書館
24. 3. 29 和
寄贈

19829

胡蝶園作
俗名仙太郎
春斜画

国立国会図書館　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6　ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『江戸名所古跡物語』　請求記号 864-6

ガラス使用